

日本薬剤師会 令和8年度事業計画

(基本方針)

令和7年5月に公布された改正薬機法は、段階的に施行されており、令和8年5月からは、濫用等のおそれのある医薬品の販売方法が一層厳格化される。近年、若年者を中心に風邪薬等の一般用医薬品の濫用が拡大している状況を踏まえ、濫用防止に関する周知・啓発の取組みに加え、薬事規制の側面からも、多量・頻回購入の防止を徹底することが求められている。本会は、薬剤師・薬局が適切に対応できるよう、必要な情報提供や支援を行っていく。

また、「デジタル技術を活用した医薬品販売」や「調剤業務の一部外部委託」が公布から2年以内に施行される。本会は、施行にあたっての具体的な要件等について、医療及び医薬品の安全性を確保する観点から、関係する各審議会等において必要な主張を引き続き行っていく。

令和8年6月に予定される令和8年度診療報酬・調剤報酬改定については、その改定趣旨を踏まえ、薬剤師・薬局が期待される役割を的確に果たし、かかりつけ機能を十分に発揮することにより、国民の健康な生活に貢献できるよう、会員への周知徹底を図り、医療の質の向上に取り組んでいく。

昨年7月に策定した「地域医薬品提供体制強化のためのアクションリスト」については、各地域薬剤師会・都道府県薬剤師会において、関係行政機関や多職種との連携・協働の下、実行されているところであるが、本会としても、その活動をサポートし、地域完結型医療の構築に向け推進を図る。

医療DXの推進に関しては、電子処方箋、オンライン服薬指導、電子おくすり手帳等を効果的に活用することにより、業務の効率化と、患者に対するより質の高いサービスの提供を目指す。本会は、各薬剤師・薬局がこれらに的確に対応できるよう、引き続き支援を行っていく。

このほか、会員向けの施策として、利用者の視点を重視し、令和8年度よりJPALS認定薬剤師制度の改正運用を開始するとともに、日薬アプリ（会員証の表示や本会からの情報をプッシュ通知するなど、会員向けサービスを提供するアプリ）の提供を行う。

組織強化の取組みとしては、令和8年度から「新卒薬剤師 初年度会費無料キャンペーン」を実施するほか、「薬剤師会組織のあり方等に関する特別委員会」が令和8年1月に取りまとめた報告書を踏まえ、都道府県薬剤師会及び地域薬剤師会と連携し、必要な施策の実施に取り組んでいく。

本会は、現在の課題への対応を着実に進めるとともに、中長期的な視野に立った検討を重ねていく。その結果として、各地域において薬剤師サービスと医薬品提供体制が確立され、地域住民が安心して暮らせる環境が実現されることを目指す。そのため、現場の薬剤師・薬局が十分に活躍できるよう、都道府県薬剤師会の協力を得ながら、以下に示す具体的な事項に取り組む。一人ひとりの薬剤師がその職能を生かし、責任を持ってそれぞれの職務を果たせるよう、全力で会務を推進していく。

- (1) 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業
- (2) 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業
- (3) 公衆衛生の普及・指導に関する事業
- (4) 薬事衛生の普及・啓発に関する事業
- (5) 地域医療への貢献並びに医療安全の確保に関する事業
- (6) 災害時等の医薬品の確保・供給に関する事業
- (7) 都道府県薬剤師会等との連携、協力及び支援に関する事業
- (8) 会員の福利厚生事業
- (9) 損害保険代理業及び生命保険の募集に関する事業
- (10) 施設及び土地の貸与事業
- (11) その他本会の目的を達成するために必要な事業

1. 薬剤師養成のための薬学教育への対応 [公益目的事業。(1)に関連]

- 1) 薬学教育関連行政、大学及び関係団体との連携強化
- 2) 薬学生実務実習受入体制・指導体制の充実・強化
- 3) 薬学教育全般の諸課題への対応

2. 生涯学習の充実・学術活動の推進 [公益目的事業。(1)(7)に関連]

- 1) 生涯学習支援システム J P A L S 及び J P A L S 認定薬剤師制度（新制度）の運営・普及
- 2) 薬学5団体による「薬剤師生涯学習達成度確認試験」実施への協力
- 3) 日本薬剤師会学術大会（新潟大会）の開催
- 4) 倫理審査への対応と研究活動の促進
- 5) 薬剤師業務・資質向上に係る研修基盤の維持運営

3. 薬剤師・薬局機能の充実及び医療安全対策の推進

[公益目的事業。(2)(3)(4)(5)(7)に関連]

- 1) かかりつけ薬剤師・薬局の推進を図るための各種対策（多職種連携・薬業連携の推進、在宅医療の推進を含む）
- 2) 要指導医薬品・一般用医薬品、薬局製造販売医薬品の提供体制の充実・強化及び健康サポート機能の充実・強化による医薬品提供体制の確保
- 3) 健康サポート薬局研修の実施
- 4) 「薬と健康の週間」への対応
- 5) 薬局等における医療安全管理体制の整備・充実に関する事業
- 6) 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業への協力
- 7) 電子処方箋への対応
- 8) 薬剤師資格証（HPKIカード）の普及
- 9) 次世代電子お薬手帳と薬局DX基盤整備の取組
- 10) 医療DX令和ビジョン2030に対応した活動
- 11) 本会の各種政策課題のための調査・研究事業

4. **医薬品等情報活動の推進** [公益目的事業。(2)(7)に関連]
 - 1) 国民への医薬品等情報提供サービスの拡充・推進
 - 2) 国・企業・学会等の情報の収集・評価・伝達
 - 3) 医薬品リスク管理計画（RMP）を念頭においた薬剤イベントモニタリング（DEM）事業の実施

5. **公衆衛生・薬事衛生への対応** [公益目的事業。(3)(4)(7)に関連]
 - 1) 学校薬剤師活動の推進支援
 - 2) 過量服薬・自殺予防等対策
 - 3) 薬物乱用防止啓発活動の推進
 - 4) アンチ・ドーピング活動の推進（スポーツファーマシストの活動支援等）
 - 5) 新型コロナウイルス感染症を含めた新興感染症等への対応
 - 6) 都道府県薬剤師会関係試験検査センターを活用した調査実施等
 - 7) 食品の安全性確保への対応

6. **地域包括ケアシステムを踏まえた地域の医薬品、医療、介護、保健等の提供体制への取組みの推進** [公益目的事業。(5)(7)に関連]
 - 1) 地域医療構想・医療計画と整合のとれた地域医薬品提供体制の構築に係る取組みの推進（認定薬局等の地域での活用を含む）
 - 2) 医療計画等各種計画、地域医療提供体制等への参画・連携促進

7. **医療保険制度・介護保険制度への対応** [公益目的事業。(5)(7)に関連]
 - 1) 医療保険制度・介護保険制度に関する検討・対応
 - 2) 調剤報酬、介護報酬における課題、在り方等に関する検討・対応
 - 3) 調剤報酬請求の適正化の推進
 - 4) 社会保険指導者の研修・育成
 - 5) 薬価基準制度、収載品目の検討
 - 6) 後発医薬品・バイオ後続品の安定供給、使用促進への対応
 - 7) 医薬品産業政策及び流通問題への対応

8. **災害時等の医薬品の確保・供給への対応** [公益目的事業。(6)(7)に関連]
 - 1) 災害時等における医薬品等の確保・供給のあり方の検討
 - 2) 災害時の救援活動等への準備・対応
 - 3) 災害薬事コーディネーター育成プログラムの検討

9. **都道府県薬剤師会等との連携** [公益目的事業・法人会計。(1)～(10)に関連]
 - 1) 日本薬剤師会学術大会（新潟大会）の開催（再掲）
 - 2) 都道府県薬剤師会の活動に対する支援・協力
 - 3) 日本薬学会等学術団体との連携

10. 国際交流の推進 [公益目的事業。(1)～(6)に関連]

- 1) F I Pへの協力・支援及び参加促進
- 2) F A P Aへの協力・支援及び参加促進
- 3) 各国薬剤師会等との交流と国際組織活動への協力

11. その他

- 1) 職域部会（病院診療所、製薬、農林水産薬事、卸、行政、学校、大学教員）の活動推進 [公益目的事業]
- 2) 薬剤師職能・薬局機能、本会事業（各種公益活動）の広報並びに周知 [公益目的事業・法人会計]
- 3) 日本薬剤師会雑誌の発行、電子版・アプリの更なる利用推進[公益目的事業]
- 4) 会員拡充対策の推進 [法人会計]
- 5) 薬剤師賠償責任保険制度等の普及 [収益事業等]
- 6) 共済部等福利制度の運営 [収益事業等]
- 7) 薬学生の活動に対する支援・協力 [公益目的事業]
- 8) 日本薬剤師会館建設に向けた対応 [公益目的事業・収益事業等・法人会計]
- 9) 各種法規・制度への対応 [公益目的事業]
- 10) 税制改正・政府予算案等への対応 [公益目的事業]
- 11) 薬剤師行動規範の普及・啓発 [公益目的事業]
- 12) その他本会の目的達成のために必要な事業